

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのおと、大切に保存してください。

保証期間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

扇風機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

転居される時

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙(黄色用紙)「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。

修理を依頼される時は

11ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用中を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理をさせていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

持込修理

愛情点検



ご使用の際このような症状はありませんか?

- スイッチを入れても、ときどき羽根が回転しないことがある。
- 回転が遅い。または回転が不規則である。
- 回転中に異常な音や振動がする。
- モーター部分が異常に熱い。
- こげくさい「におい」がする。
- その他の異常がある。

ご使用中

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検修理をご相談ください。

長年ご使用の扇風機の点検を!

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼される時、お役に立ちます。

購入店名 _____ 電話 () _____
 ご購入年月日 平成 年 月 日

株式会社 日立製作所

〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
 電話(03)3502-2111

取扱説明書

HITACHI

日立扇風機

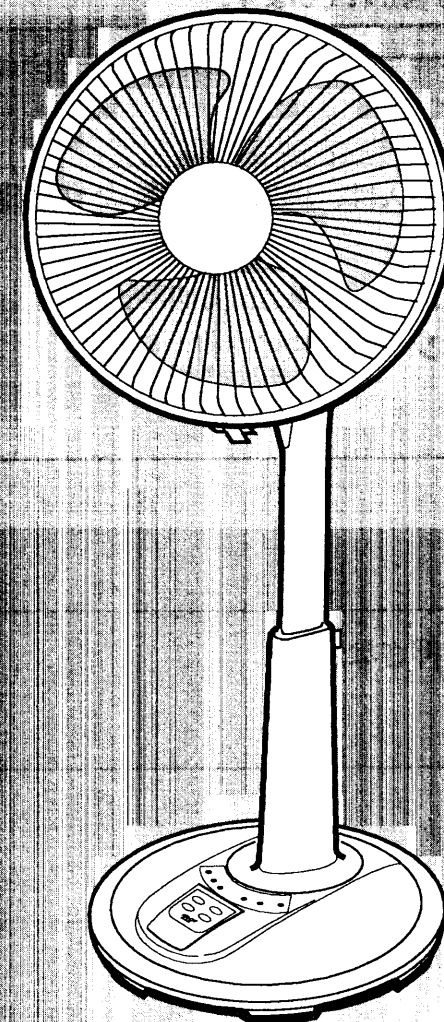
リビング扇

H-303C形

このたびは日立扇風機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書、ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。



さわ風



もくじ

ページ

安全上のご注意	2
使用上のご注意	4
組立てかた	5
各部のなまえとはたらき	7
リモコンの使いかた	8
上手な使い方	10
お手入れと保管のしかた	10
故障かなと思ったら	11
仕様	11
保証とアフターサービス	12




安全上のご注意








- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。





 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例

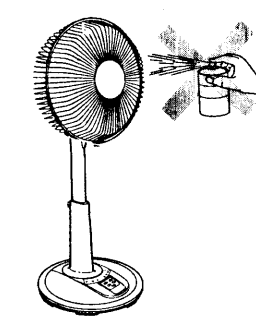
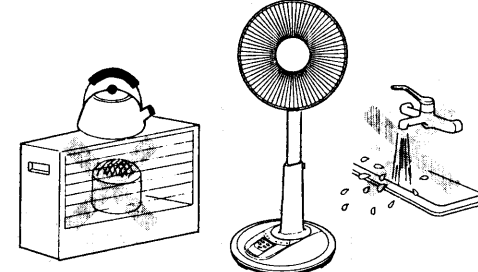
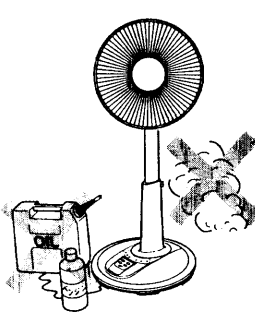
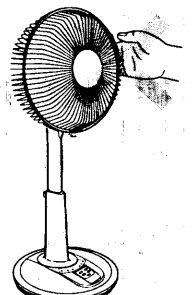
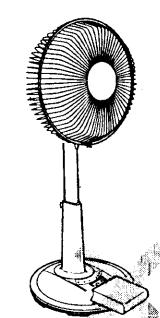
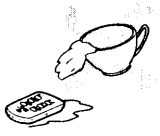
	△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

 警告	
	改造は行なわない。また、修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理を行なわない ●火災・感電・けがの原因になります。
	お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く また、ぬれた手で抜き差ししない ●感電やけがをすることがあります。
	水につけたり、水をかけたりしない ●ショート・感電・発火の恐れがあります。
	羽根、ガードをつけずに高さ調節ボタンを押さない ●モーター部が飛び出して、けがの原因になります。
	羽根、ガードをつけずに運転しない ●モーターが回転し、けがの原因になります。
	組立てや、取り外しの際は、電源プラグを差し込まない ●感電やけがの原因になります。

 警告	
	電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない ●感電・ショート・発火の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ひっぱったり、ねじったり、たばねたりしない また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない ●電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
	交流100V以外では使用しない ●火災・感電の原因になります。

 注意	
	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く ●感電やショートして発火することがあります。
	本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する ●羽根やガードが外れ、けがをすることがあります。
	次の場所では使わない * ガスレンジなどの近く * 引火性ガスのあるところ * 雨や水しぶきのかかる場所 ●炎の立ち消え、火災・感電の原因になります。
	風を長時間、からだにあてない ●健康を害することがあります。
	障害物のそばや、不安定な場所では使わない ●転倒によりけがをすることがあります。
	使用時以外は、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
	ガードの中や可動部へ指などを入れない ●けがをすることがあります。

使用上のご注意

<p>殺虫剤などをかけたりしない</p>	<p>高温、高湿、水のかかる場所、火気の近くでは使わない</p>
<p>●変質、破損などの原因になります。</p> 	<p>●変質、変形、感電、故障などの原因になります。</p> 
<p>油、ほこり、溶剤や薬品などのつきやすい場所では使わない</p>	<p>横を向いている扇風機を無理に正面に向けない</p>
<p>●破損、変質、故障などの原因になります。</p> 	<p>●破損、故障などのおそれがあります。 ●畳、床面などに傷をつけるおそれがあります。</p> 
<p>リモコン受信部をかくさない</p>	<p>リモコンの取り扱いをたいせつに</p>
<p>●障害物があると、リモコンによる操作ができなくなります。</p> 	<p>●踏んだり、落としたり、水をかけないでください。 破損、故障の原因になります。</p> 

組立てかた

包装箱は保管のとき必要ですので、捨てないで下さい。

警告

組立てが完了するまではコンセントに電源プラグを差し込まない

●感電やけがをすることがあります。

羽根、ガードをつけずに高さ調節ボタンを押さない

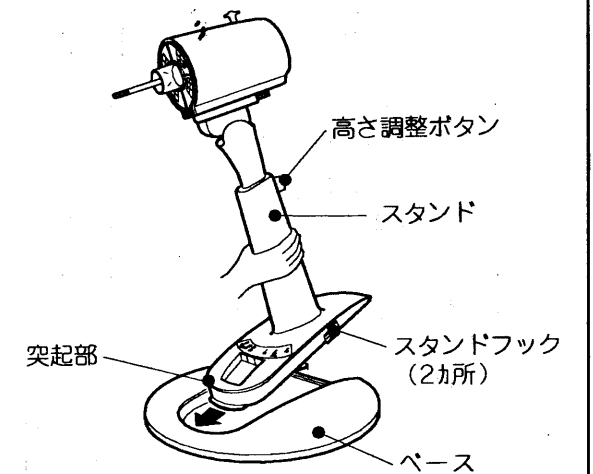
●モーター部が飛び出して、けがの原因になります。

1. ベースとスタンドを取り付けます。

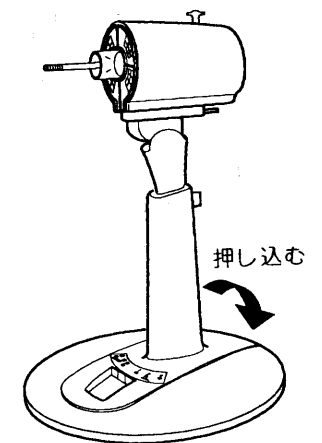
① 安定した場所にベースを置き、スタンド前部にある突起部をベースに差し込みます。

ご注意

- スタンドフックを無理に広げますと、破損の原因になります。
- 組み立てが完了するまでは、リモコンホルダーにリモコンを収納しないでください。
リモコンの落下によりけがや破損、故障の原因になります。



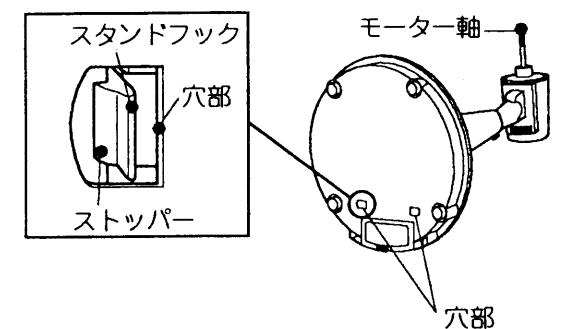
② ベースに「カチッ」と音がするまでスタンドを押し込み、確実にスタンドフックをベースにはめ込みます。



③ モーター軸を上向きに置き、ベース裏側の穴部の中のストッパーにスタンドフックが確実にめ込まれていることを確認してください。

ご注意

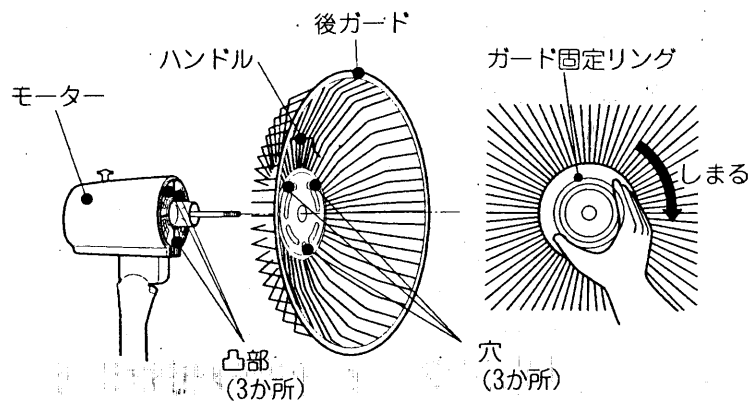
- スタンドフックが確実にめ込まれていないとスタンドが外れ転倒や落下などによる、けがや破損、故障の原因になります。



組立てかた(続き)

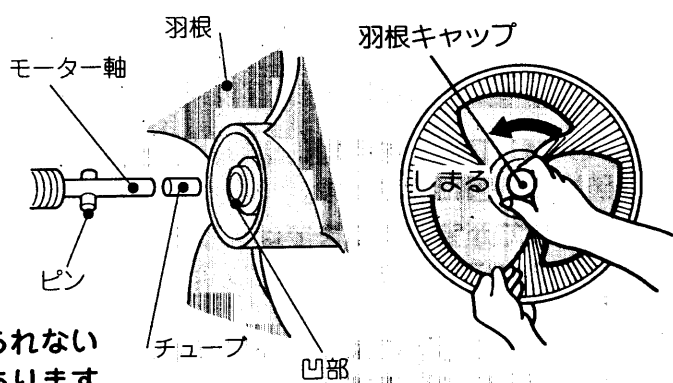
2. 後ガードを取り付けます。

- ① 後ガードの「ハンドル」を上にして、モーター前面の凸部(3か所)に後ガードの穴(3か所)を差し込みます。
- ② ガード固定リングを「しまる」の方向に回して確実に締めつけます。



3. 羽根を取り付けます。

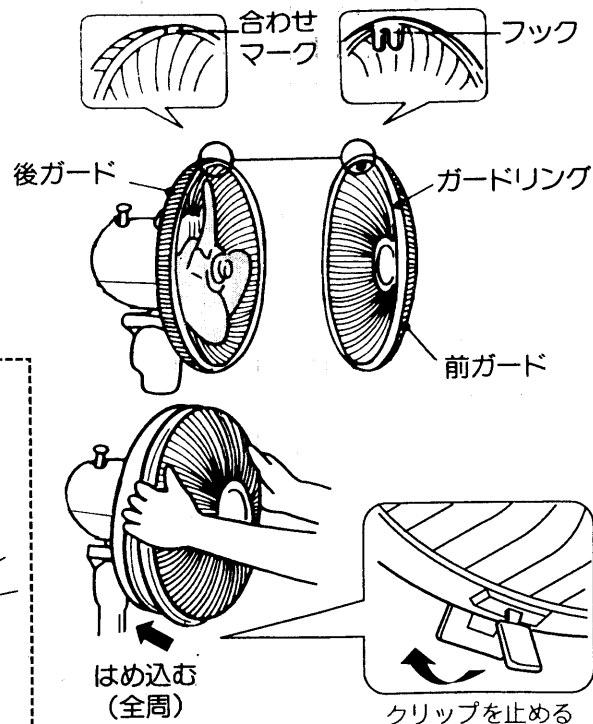
- ① モーター軸のチューブを抜きとります。
●チューブはおしまいになるときに必要です。保管しておいてください。
- ② モーター軸のピンと羽根の凹部が合うように、羽根をモーター軸に差し込み、羽根を押えながら羽根キャップを「しまる」の方向に回して、確実に締めつけます。



ご注意 ●羽根キャップは確実に締めつけられないと羽根が外れけがをする恐れがあります。

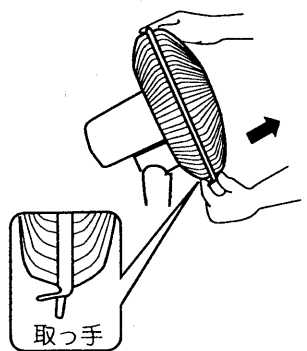
4. 前ガードを取り付けます。

- ① 前ガードについているガードリングのフックを後ガードの合わせマークに合わせて取り付けます。
- ② 後ガードを押え、前ガードを押してガードリングを後ガードに全周はめ込みます。
- ③ クリップは後ガードをはさみ込むように確実に止めます。

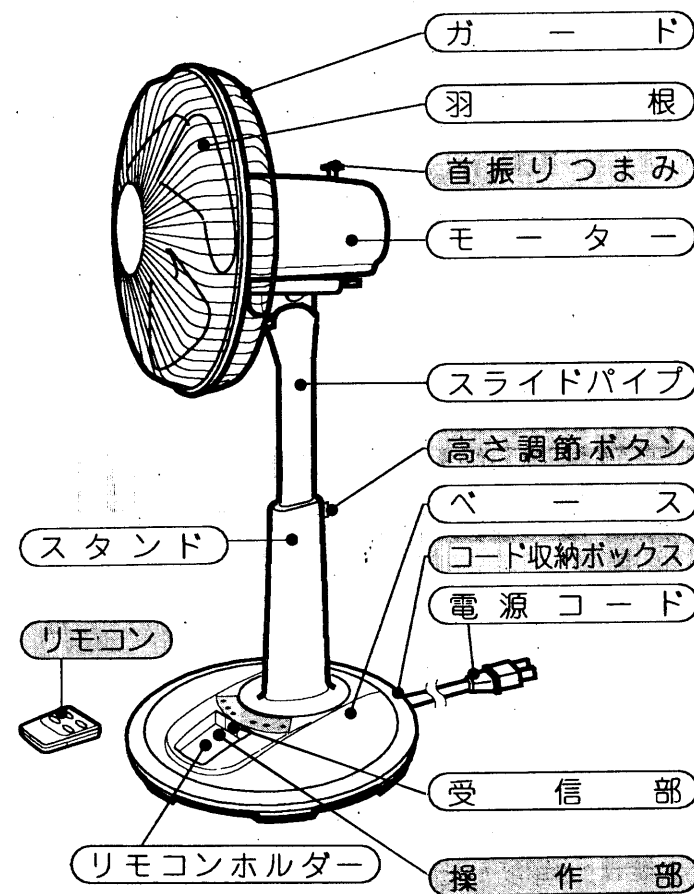


ご注意 ●前ガードが確実ににはめ込まれていないと外れることがあります。

■前ガードの外しかた
電源プラグをコンセントから抜き、羽根の回転を止めてからクリップを外し、前ガードを上から押さえてガードリング下の取っ手を手前に引き、下側が外れたら、ガードリングの両脇を外側に広げながら手前に引きます。

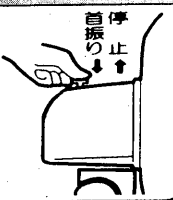


各部のなまえとはたらき



首振りつまみ

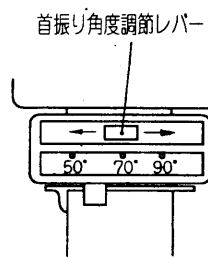
- 押し込むと……首振りします。
- 引き上げると…停止します。



風向調整のしかた

ご注意

- 安全のため、羽根の回転を止めてから、風向きを変えてください。無理に動かすと故障の原因になります。

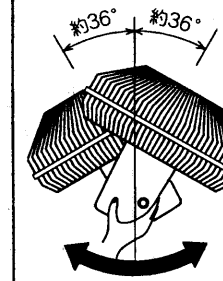


首振り角度調節レバー

- 首振り角度を変えます。モーターを軽く押さえ、首振り角度調節レバーをお望みの角度(50°、70°、90°)にゆっくり合わせてください。

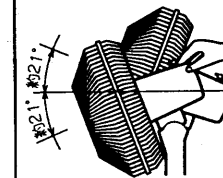
2重首振り

- 風向きを左・右に変えたいときベースを片手で押さえ、モーターを持って左・右にゆっくり動かします。
- 風向きを変えたとき、首振り角度調節レバーが動く場合があります。



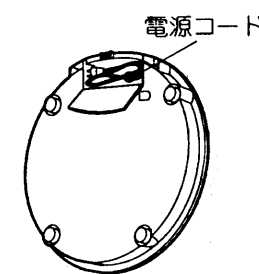
フリーアングル

- 風向きを上・下に変えたいときベースを片手で押さえ、モーターを持って上・下にゆっくり動かします。



コード収納ボックス

- ベース後部を持ち上げて、電源コードを取り出してください。
- 収納するときは、電源コードを小さく束ねて収納してください。



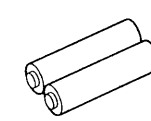
ご注意

- プラグをコード収納ボックス内に確実に収納してください。不完全な収納の場合は、床面を傷つける原因になります。

付属品



リモコン (1個)



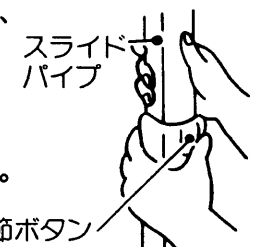
単4形乾電池(2個) RO3(UM-4)

ご注意

- 乾電池は工場出荷時に同梱していますので、自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。

高さ調節ボタン

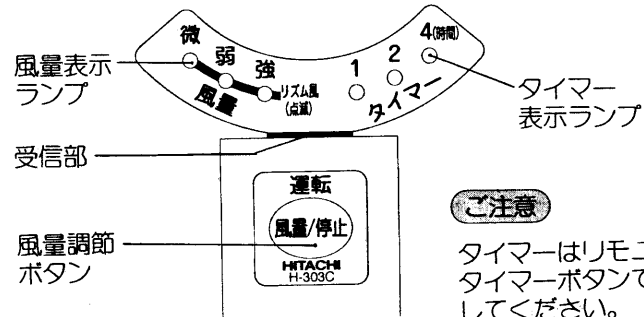
- 一番下から高くする場合は、高さ調節ボタンを押しながらスライドパイプを上げ、高さを調節します。調節した位置で止まります。



- スライドパイプが一番下に下げたときのみ固定されます。それ以外の位置では固定できません。

各部のなまえとはたらき(続き)

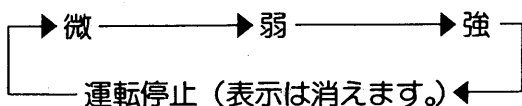
操作部



ご注意
タイマーはリモコンのタイマーボタンで操作してください。

風量調節(風量/停止)ボタン

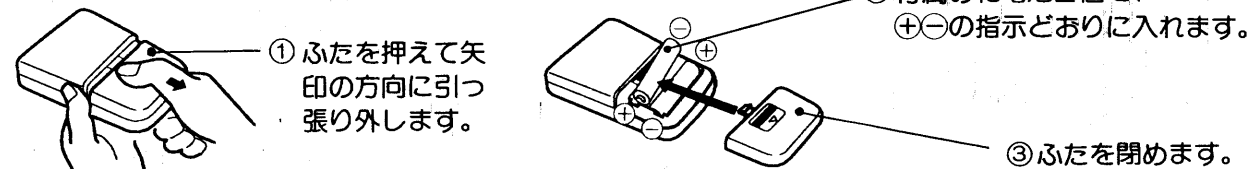
風量調節ボタンを押すと電源が入り、風量「微」で運転します。ボタンを押すごとに風量が順送りで切り換わります。



リモコンの使いかた

リモコンに乾電池を入れる

リモコンに乾電池(2個)を入れます。



乾電池についてのご注意

乾電池を誤って使うと、液漏れや破裂の危険があります。電池の注意文をよくお読みになり、次の点を特に注意してご使用ください。

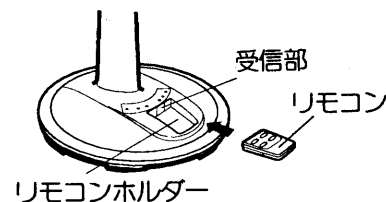
- 電池の \oplus 、 \ominus の向きは、器具の指示どおりに正しく入れる。
- 新しい電池と古い電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておく。

万一液漏れしたときは、よく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

リモコンについて

1. リモコンをベースの受信部に向けて、お望みのボタンを押します。

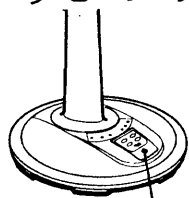
- リモコンで操作できる距離は受信部正面で約5m以内です。受信部に対して斜めになるほど、操作できる距離は短くなります。



ご注意

- インバーター照明器具または電子瞬時点灯照明器具などを使用している部屋や受信部に直射日光が当たる場所では、表示ランプがちらついたりリモコンで動作しない場合があります。
- 扇風機にさわっているときなどは、リモコンを操作しないでください。

2. リモコンの収納と取り出しかた



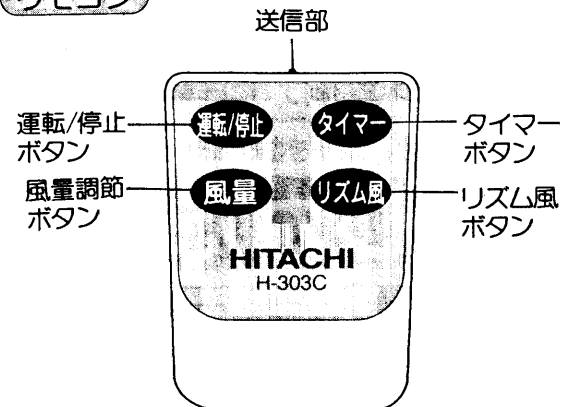
- リモコンで操作をしない時はリモコンをリモコンホルダーに収納して本体スイッチとしてお使いください。

お願い

- 動作しにくくなった場合は電池を交換してください。
- 送信部と受信部の間に障害物がないようにしてください。

リモコンの使いかた(続き)

リモコン



ご注意

- 運転するときには最初に「運転/停止ボタン」を押してください。最初に他のボタンを押しても動作しません。

運転/停止ボタン

運転/停止ボタンを押すと電源が入り、風量「微」で運転します。もう一度押すと停止します。

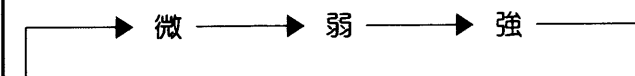
メモリー機能

運転停止後、再び運転/停止ボタンを押すと、停止する前の運転状態で運転します。

- タイマー時間はメモリーされません。
- 電源プラグを抜いた場合は、メモリーは解除されます。

風量調節ボタン

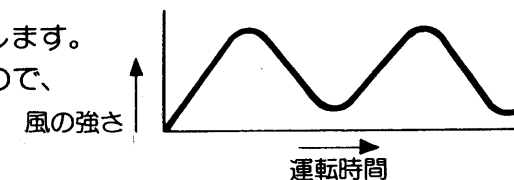
風量調節ボタンを押すごとに、風量が順送りに切り換わります。風量表示ランプを見ながら押してください。



リズム風ボタン

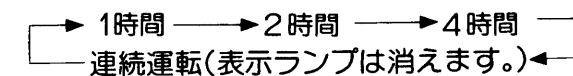
リズム風ボタンを押すと「強く」・「弱く」風が変化し、自然に近い風になります。もう一度押すと一定の風になります。

- リズム風運転のときは、運転中の風量表示ランプが点滅します。
- 微のリズム風は「運転」と「停止」を繰り返していますので、一時的に羽根が止まる場合があります。



タイマーボタン

タイマーボタンを押すごとに、順送りでタイマーセット時間が切り換わります。タイマー表示ランプを見ながら押してください。



- 時間がたつとタイマー表示ランプが切り換わり、残りの運転時間を示します。
- セットした時間が終わると表示ランプが消え、運転が自動的に停止します。

ご注意

- 電源プラグがコンセントに差し込まれているとマイコンなどの消費電力により操作部の一部が暖かくなります。長時間ご使用にならないときは、節電のためにも電源プラグをコンセントから抜いてください。
- (運転を停止しても、電源プラグがコンセントに差し込まれていると約1.4W電力を消費します。)
- 運転中に、停電や電源プラグが抜けた場合は「切」になります。初めから操作をやり直してください。

上手な使いかた

- 風の強さを適切に使いわけましょう。
- 首振りを利用しましょう……涼感が増します。
- 冷暖房時、エアコンなどと併用運転をしましょう……冷暖房効果が増します。

お手入れと保管のしかた

警告

- | | |
|---|--|
| <p> お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電やけがをすることがあります。 | <p> 羽根、ガードをつけずに高さ調節ボタンを押したり、モーターを運転しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●けがをする恐れがあります。 |
| <p> スライドパイプを縮めたままお手入れをしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●誤まって高さ調節ボタンを押すと、モーター部が飛び出してけがをする恐れがあります。 | <p> ベースとスタンドなどを取り外す際は、電源プラグをコンセントに差し込まない
また、ベースの接続部にさわったり、異物を入れたりしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電やけがをすることがあります。 |

お手入れのしかた

- ガード、羽根は組み立てと逆の順序で取り外し、汚れは、清水または中性洗剤を含ませたやわらかい布をよく絞ってからふいてください。汚れを落としたあと、洗剤が残らないように十分ふきとってください。

ご注意

- ガソリン、シンナー、ベンジン、ワックス、灯油、アルコールなど揮発性の溶剤類、みがき粉、アルカリ性せっけんなどは使わないでください。
プラスチックや塗装面が変色したり破損する恐れがあります。
- 化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。
- プラスチック部品に油をつけないでください。変色したり破損する恐れがあります。

保管のしかた

- 組み立てと逆の順序で分解し、モーター軸は、よく汚れをふき取ってからうすくマシン油などを塗り、組み立てるときに抜き取ったチューブをかぶせ、お買い求めになったときの包装箱に収納し、湿気の少ないところに保管してください。また、「収納のしかた」は包装箱の表示を参照してください。

ご注意

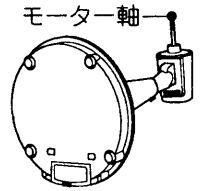
- 扇風機が横を向いているときは、無理にもどさず、首振り運転させて正面に向けてください。
- 2重首振りの位置は正面に向けてください。
破損、故障などの恐れがあります。
- 本体や羽根についた油は、中性洗剤を浸したやわらかい布でよくふきとってください。
また、中性洗剤が残らないように十分にふきとってください。
プラスチックが変色したり、破損する恐れがあります。

お手入れと保管のしかた (続き)

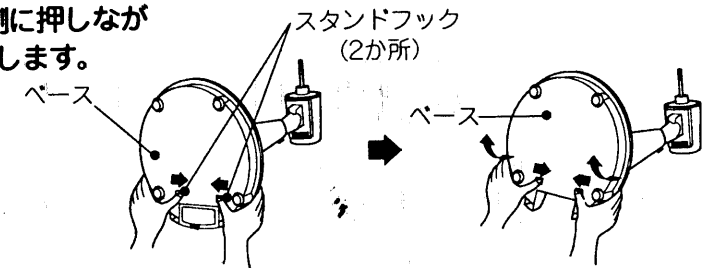
ベースの外しかた

- ① モーター軸を上にして置いてください。

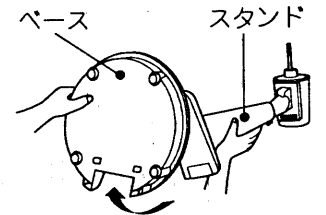
ご注意 ●モーター軸を下にしますと不安定になったり、故障の原因になります。



- ② ベースを支え、スタンドフック2か所を内側に押しながらベースを手前に引き、スタンドフックを外します。



- ③ スタンドを支え、ベースを静かに持ち上げ外してください。



故障がなと思ったら

異常が生じた時は、次の点検をしてください

症状	点検するところ
羽根が回転しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？ ●ご家庭のヒューズ、ブレーカーが切れていませんか？
リモコンで動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ●「運転/停止」ボタンは押しましたか？ ●電池が消耗していませんか？ ●電池の入れかた（$\oplus$$\ominus$の方向）が間違っていないですか？
運転中の音が異常に大きい	<ul style="list-style-type: none"> ●羽根はしっかりと取り付けられていますか？ ●ガードはしっかりと取り付けられていますか？ ●羽根とガードが当たっていませんか？

仕様

定格電圧 (V)	定格周波数 (Hz)	定格消費電力 (W)	最大風速 (m/min)	風量 (m ³ /min)	首振り角度 (度)	質量 (kg)	コードの長さ (m)
100	50	38	184	42	0.50、70、90	3.9	1.9
	60	41	196	45			